

## 第2回病院連絡会での各グループごとの意見

グループ		区の課題や特徴	病病連携・病診連携	病院の統合や移転、法人内連携
南 部	A 阿倍野 区		<ul style="list-style-type: none"> <li>・（意見）急性期を担う病院と回復期、慢性期を担う病院が病病連携を進めていく必要がある。</li> </ul>	
	B 住之江 区 住吉区		<ul style="list-style-type: none"> <li>・住之江区、住吉区ともに、役割分担が行われており、病病連携、病診連携がうまく機能している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年後に錦秀会4病院（阪和病院、阪和第二病院、阪和記念病院、阪和住吉総合病院）を統合し、2病院の912床で、合計ベッド数は変更なし、やや減の予定。内訳は急性期250⇒160床、回復期316床、療養432床で、現在の病院の性格を維持していく方針である。</li> </ul>
	C 東住吉 区		<ul style="list-style-type: none"> <li>・東住吉区では、区医師会を軸として、病病連携が非常によく進んでいる。</li> <li>・大阪市南部、区の病院間の関係や構造も、シンプルであり、急性期～回復期～慢性期の患者さんの流れがスムーズである。</li> <li>・（意見）今後も各病院の果たすべき役割を認識して連携を図っていきたい。</li> </ul>	
	D 平野区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症の急性期については、東住吉森本病院や八尾市民病院に入院している。</li> <li>・多くの病院において、老朽化が問題にはなっているが、具体的な建て替えは難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（意見）区内に公的病院がないため、病院間の連携と医療側の情報共有が重要である。</li> <li>・情報共有を図るツールとして、病院間でのメーリングリストを作る提案があり、浜田病院が中心となり、連携を深めていくことになった。</li> </ul>	
	E 西成区		<ul style="list-style-type: none"> <li>・区内の医療機関の連携を図るツールとして、区医師会を通じた情報交換シートを取り入れている。</li> </ul>	